学校番号	T3016

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	(学)匠の技 A	単位数	２単位	年次	3・4年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

精密測定法と仕上げ加工法の発展には密接な関係があること，現在までのその発展の経緯，多種の精密測定法と加工法が駆使されて生産活動が行われていることなど，それらの基礎を学び取り、実習と連携し，精密測定法と仕上げ加工法との関係，精密測定法と加工法の選択の基礎を習得し、精密なものづくりに対しての技術・技能を習得する。

2　学習の到達目標

１）精密測定法を学び，それらを実際に活用する能力・技能・態度の育成を目的とする。
２）仕上げ加工法を学び，それらを実際に活用する能力・技能・態度の育成を目的とする。
３）実習において以下の能力を目標とする。
・精密測定法（丸・角形状の測定において 1/1000㎜ で測定できる）
・仕上げ加工法（1/100㎜ 以内の誤差で加工できる）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・精密測定法と仕上げ加工法に関する学習を通して基礎的な知識と技術を理解し，工業の発展と調和のとれたありかたや現代社会における工業の意義や役割を理解している。また，その成果として，ものづくりでのいろいろな場面で問題解決を試みることができるように相互に関連させて理解している。	・精密測定法と仕上げ加工法に関する諸問題の解決をめざして自ら思考を深め，基礎的基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。また，その成果を適切に表現することができる。	・身近な製品に関心を払うなどして，精密測定法と仕上げ加工法に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち，その習得に向けて意欲的に取り組むとともに実際に活用しようとする創造的実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	精密測定法	・基本的な測定用語と工業計測の意義を理解している。 ・数値の丸め方について理解している。 ・測定結果の表し方について理解している。 ・生じる誤差とその対策について理解している。	a: 基本的な測定用語と工業計測の意義を理解している。 ・ノギスやマイクロメータを使った長さの計測を理解し，目盛りを読み取ることができる b: 測定結果の表しかたについてまとめ，説明することができる。 ・直接測定と比較測定の違いを説明することができる。 ・各種の測定器の特徴やしくみを理解し，正しい長さ計測法を説明することができる。 c: ものづくりにおける計測することの重要性を理解しようとしている。 ・長さの測定について，測定器を選び，それを正しく活用することに関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習前の学習プリント 実技試験	実習を通じての技能・知識 実技試験	授業への取り組み姿勢 実技試験
	仕上げ加工法	・おもな仕上げ加工法を理解させ仕上げ加工時の工具と工作物との間の基本切削や加工法の組み合わせを理解する。	a: 基本的な仕上げ用語と仕上げ加工法の意義を理解している。 ・ヤスリを使った仕上げ加工法を理解し，平面加工ができる b: 仕上げ加工で平面加工と平行加工を行い凹凸を予測し的確に加工ができる。 c: 仕上げ加工に関心を持ち，意欲的に繰り返し学習に取り組み、技能を身につけようとしている。	実習前の学習プリント 実技試験	実習を通じての技能・知識 実技試験	授業への取り組み姿勢 実技試験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度